

編集後記

●今号の特集を機に、弊誌が前に健康教育を取り上げた時期を調べてみた。2001年3月「個別健康教育を考える」、1995年12月「何のための健康教育なのか」、1990年10月「老人の健康教育活動」だった。今回は副題「PDCAを回していますか？」をつけた。各記事に共通するのは、いきなりPから始まるのではないこと。情報収集、地域診断など、地域の理解を踏まえて、その実状に合わせた企画の1つとしての健康教育である。今号を機に、いま一度健康教育について考えてみてはいかがでしょう。(杉之尾)

●例えば、1940年代における感染症予防を啓蒙する公衆衛生活動としての健康教育は、意義が明確でした。一方、ICT化が進み、誰でも容易に健康情報を入手することが可能な現代において、健康教育の意義とは何でしょうか。単に、生活習慣病対策等における個人の行動変容を促すだけであるのなら、健康教育である必然性はありません。健康教育そのものの存在意義が問われる時代だからこそ、保健師には原点に戻って健康教育のあり方を再考していただきたいです。(和田)

特集

計画づくりと評価

保健師も積極的に関わろう！

「計画づくり」とその評価

保健師が参画する意義と必要性を考える 澁谷いづみ

「評価する」ということ

PDCA サイクルを活用する視点から 今井博久

3つの組織が軸となり推進した健康づくり計画

「新健康おおぶ21プラン」の取り組み 島田真希

住民・関係機関とともにつくりあげた健康増進計画

「元気トントンおおぶなと健康チャレンジプラン」の取り組み

新沼美香

PHOTO

上山市におけるケアオルト健康ウォーキングの取り組み

TOPICS

公衆衛生活動としてのポジティブ心理学介入の可能性

福島の子どものレジリエンスをめざして 島井哲志ほか

連載

聞き書き 保健師ものがたり[特別区編] 木村哲也

統括保健師の日々 高畑郁代

現場の疑問に答える 地域づくり型保健活動 Q&A 岩永俊博

ナカイト発 保健師へのつぶやき 中板育美

ニュースウォーク 白井正夫

保健師ジャーナル 第72巻8号 2016年8月10日発行(毎月1回10日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2016, Printed in Japan

1部定価：本体1,400円＋税

2016年年間購読料(送料弊社負担) 冊子版：本体14,280円＋税、冊子＋電子版/個人：本体17,280円＋税、

電子版/個人：本体14,280円＋税

販売部：☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集室：☎(03)3817-5774 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当：和田/杉之尾/伊藤

Twitter <http://www.twitter.com/hokenshiJ> Facebook <http://www.facebook.com/hokenshiJ>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「保健師ジャーナル」は株式会社医学書院の登録商標です。